東酒造、酒蔵新築地鎮祭

有園で工施　工期内の安全祈願

東酒造㈱（東匡子社長、鹿児島市）は17日、南さつま市金峰町池辺で酒蔵新築工事に伴う地鎮祭を行い、工期内の安全と完工を祈願した。

神事では、祝詞奏上に続いて地鎮の儀では、刈り初めの儀を東社長、鍬入れの儀を㈲大木設計の大木文郎社長、鋤き入れの儀を㈱有園の有川義信社長がそれぞれ力強く行った。その後、各代表らが神前に玉ぐしを捧げ、参列者全員で工期内の無事を祈願した。

今回の酒蔵新築にあたっては、一昨年からの焼酎ブームにより現存の工場だけでは手狭になったことから、今後の消費量に円滑に対応すべく同社のルーツでもある南薩摩地区に酒蔵の新築を計画。建設にあたり、県内外数社から見積もりを徴収した結果、本体工事（設備一括）を㈲有園に決定した。

主な概要としては、S造平屋建て1635㎡の全3棟。内訳は、蔵置場・事務所（1376㎡）、資材置場（129㎡）、瓶倉庫（129㎡）などとなっている。1月末にも工事に着手し、5月末までの完成を目指す。

力強く鋤き入れを行う有川社長＝南さつま市の現地で

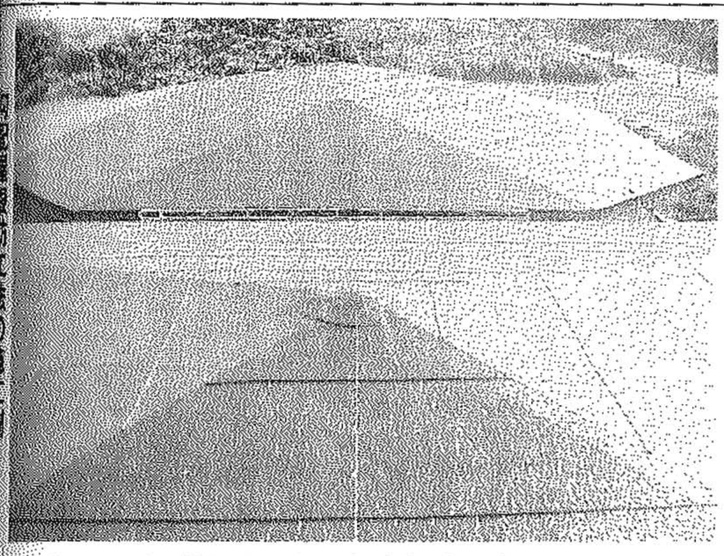
話題の商品・工法

新商品・工法の情報などは本社報道部へご連絡下さい。

ダンスラントルーフ「勾配屋根防工法」

デザイン性等で好評

筒中シート防水㈱は、塩化ビニル樹脂を主成分とし特殊な配合・製造法によって造られた耐久性・耐寒性に優れた軟質塩化ビニルシートのダンスラントルーフ「勾配屋根防工法」の販売・施工を全国的に展開し、耐久性と屋根のデザイン性の面



また、県内でも多くの施工実績を有している。

特長として、①ダンスラントルーフ独特の凹凸を利用した表面柄により屋根のデザイン性を豊かにし建物を引き立たせている②躯体には防水シートを接着しないので亀裂や振動などの影響をほとんど受けない③季節アスファルトシングル防水層をそのまま残して改修できるため、施工層にふくれが生じない④浮かし張り工法のため、降雨後にもすぐに作業が実施でき、工期短縮なども期待できるなど。

問い合わせは、県内販売店（南国殖産㈱建設資材部建材二課、☎099・2500・5203）施工店（㈱アートジャパン、☎099・229・1771）まで。

焼酎かす利用の魚礁設置

実証実験をスタート

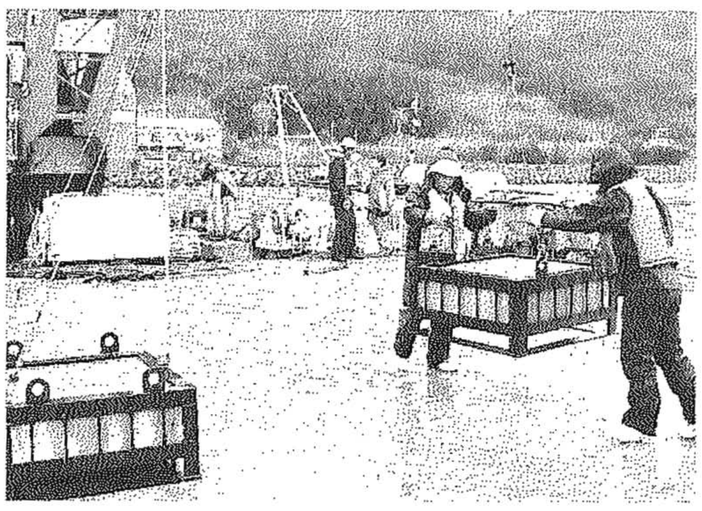
八光工業

八光工業㈱（廣橋和己社長）は、㈱アクシス（札幌市）と協力して焼酎かすを使用したコンクリートと海藻促進骨材「モバール」で造った漁礁を開発、18日に鹿児島市の喜入港沖合いで、㈱シートック（森政広社長）や鹿児島大学水産学部などが参加して漁礁設置の実証実験を行った。

当日は雨の中、報道機関や漁協関係者ら約30人が見守る中、喜入港沖合いであらかじめ台船に準備されていた漁礁10個（1個当たり550㎏）を、クレーンを使って手際よく海底へ投入。作業は海中のダイバーの指示の下、水深約3・5mの場所に5m間隔で次々と設置した。

同実証実験は、焼酎かすを有効利用したコンクリートと藻場形成に効果が実証されている「モバール」との相乗効果を狙ったもので、月に1回、鹿児島大学水産学部の協力で海藻の付着状況や水質検査などを行う。

作業終了後、廣橋社長は「実験期間は約1年間を予定。4月ごろにはホンダワラ等の藻が生えてくると思う。実験を通して良い結果が得られれば、大型の漁礁（藻礁）を作成し商品化までこぎつけたい。そして、公共機関などへもアピールしていきたい」と語った。



漁礁の設置が行われた実証実験＝鹿児島市の喜入港の沖合いで

鹿屋上下水道工事協組

今年1年の無事故祈願

鹿屋上下水道工事協同組合（本白水千年理事長）は18日、毎年恒例となっている安全祈願祭を鹿屋市の田崎神社で行い今年1年間の無事故と繁栄を祈念した。

同日は、会員や社員ら約45人が参加して、神前にそれぞれが家内安全と労働・交通無災害を誓い、赤瀬川威氏（㈱赤瀬川建設）が組合を代表して今年1年間の交通事故・交通違反、現場における事故災害防止に努める安全宣言を力強く唱和し、さらなる安全を

記念写真に納まる関係者＝鹿

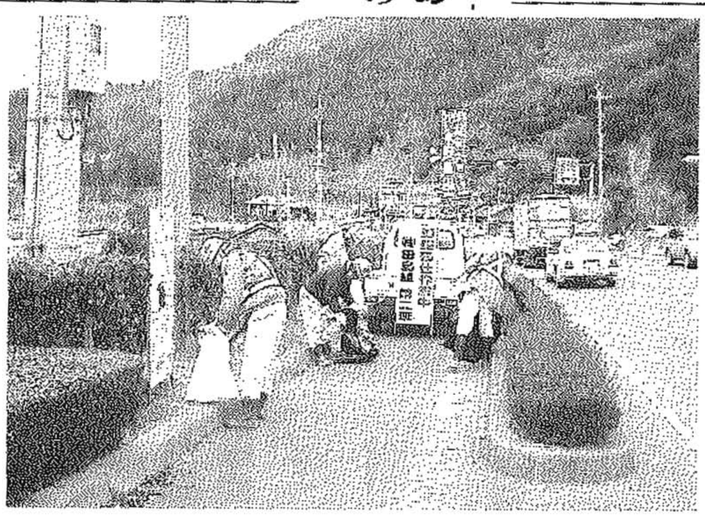
空き缶等を拾い集める参加者＝入来峠下の山之口交差点付近で

田島組奉仕作業

国道328号17㎞を清掃

㈱田島組（田島賢一社長）は、年末年始の帰省客や道路利用者にさわやかな気分で国道328号を走ってもらおうと、昨年末の28日、さつま町境から入来峠までの約17㎞の区間で奉仕作業を実施。参加者は田島社長はじめ社員20人。4班に分かれて路側帯の植え込み等に投げ捨てられた空き缶やちり等を拾い集めた。

同社はこの活動のほか、毎月第1日曜日を「道路清掃奉仕作業の日」と決め、朝7時から30分程度、入来生コンクリート㈲と合同で、本社事務所前の国道328号・薩摩川内市入来町副田十文字から副田小学校入口交差点までの約3000mの区間を清掃している。この活動は平成4年から続行中で、これが評価され7年8月に県知事表彰、13年8月に日本道路協会長表彰を受賞している。



薩摩川内市10月工事成績優秀工事

上三垣水道建設　品質向上が評価

薩摩川内市の17年度10月の工事成績優秀工事は㈲上三垣水道建設（上三垣和幸社長）施工の亀山地区コミュニティセンター水洗化工事だった。評定点は75点（標準点65点）。工期は17年8月22日～同10月20日。

評価内容は、①厳しい工期のなか、住民説明会を行い、苦情のないように努めた②狭い工事現場にも関わらず安全管理を徹底した③すべての段階で確認（自社検査）した④施工においても沈下防止の工夫が見られた⑤危険物リサイクルステーションが工事のため使用不能となったが、作業員全員で住民のため回収を手伝った⑥自ら技術提案をするなど積極的に品質向上に努めた。

黒木政俊現場代理人＝**写真**＝は「住民説明会は社長の提案で実施しました。というのも同センターは学童保育や住民の催事等に日夜、頻繁に使われているので、工事を円滑に進めるためには住民の皆さんの協力が必要でした。子供はもちろん第3者への安全対策には特に気を付け、これでもかというぐらい厳重にバリケードを設置。夜は投光器で足元を照らして安全を確保しました。書類作成は事務所の女性陣が全面的に応援してくれましたので助かりました。現場代理人としては2回目の受検で1回目は69点でした。今回の評点は、社長はじめ現場と事務所が一致協力して獲得したものです」と話した。

川内道路交通量調査

鹿児島国道

開通後、約4％増加

九州地方整備局鹿児島国道事務所は、17年3月13日に開通した川内道路・市来ICから串木野IC（約7・3㎞）において、開通前後の年末年始及び供用からこれまでの交通量変化についての調査結果を発表した。

同調査によると、同道路開通後の年末年始（17年1月28日～18年1月3日）における国道3号の交通量が、通常時（17年9月～11月）に比べ、利用交通量の変化はないが、開通前（16年9月～11月）と比較すると、1日当たり約3300台の減少が見られた。また、通常時（同）における交通量を開通直後（17年4月）と比較すると、国道3号では大きな変化は見られないものの、川内道路では約4％の交通量増加が見られた。

CRG　建設機材のレンタル・リース
中央仮設㈱
本社　鹿児島市伊敷町6713-3　☎(099)229－5900
支店　鹿児島(099)243－4633　串木野(0996)32－4161
営業所　大口(09952)6－1788　出水(0996)82－3111
空港(0995)43－1500　南薩(0993)57－3465
鹿屋(0994)40－1775　金峰(0993)77－0353